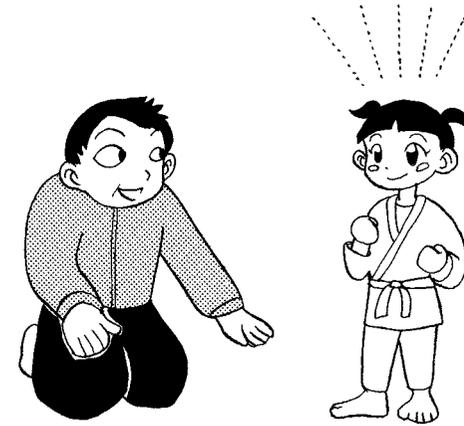


## 年少時のスポーツビジョンの個人差は生得的か、運動経験に起因するか

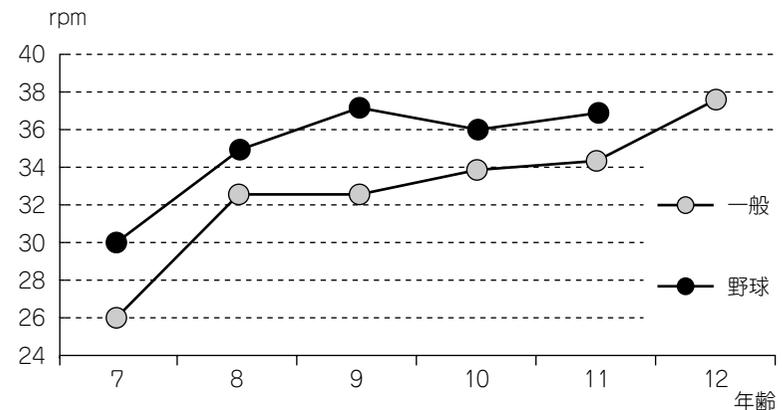
研究代表者 愛知工業大学 石垣 尚男  
解説 梶原 莞爾

あなたの子供もオリンピック選手になれる？

スポーツ選手は、DVA動体視力（パソコンの画面上を素早く動く数字を読み取る能力）や瞬間視（パソコンの画面上に現れる図形を素早く認識する能力）が一般の人よりも優れていますが、この研究結果によると、それはスポーツ体験を通じた結果であって、生まれつき備わっているものではありません。しかし小学校3年生では、よく運動をするグループとあまり運動をしないグループでは、瞬間視の能力には差がありませんが、DVA動体視力ではすでに差が認められます。従ってオリンピック選手を育てるには、幼時からの運動体験が必要ということになります。動体視力や瞬間視の訓練だけでスポーツの得意な子供が育てられるのなら、パソコンゲームで十分ということになりかねませんが、実際はその他の能力が必要なのでしょうね。



幼児からの運動体験がオリンピック選手を生むのか



少年野球の子供はどの年齢でもDVA動体視力がよい。豊富なスポーツ経験がDVA動体視力の能力をより発達させるようだ。